

<「知るっば!久留米」 令和3年12月2日(木) 12:30~放送分>

みみて楽しむ久留米の昔話 ～第1回～ 「京の隈(京町)の起こり」

<ゲスト:久留米シティプラザ事業制作課 竹下久美子さん>

《音源:みみて楽しむ久留米のむかし話3》

『京の隈(京町)の起こり』

JR久留米駅の西側、坂本繁二郎の生家や梅林寺、京町小学校などのある一帯を京町と呼んでいます。

江戸時代は、この京町を「京の隈」と呼んでいました。

町名の起こりを探ってみると3つのお話が出てきました。今回はそのひとつをご紹介します。

元暦2年3月24日、壇ノ浦の戦いで源氏に破れた平氏は、8歳の安徳天皇を守り、筑後国久留米に逃れ、その後、安徳天皇は28歳で亡くなられたという言い伝えがあります。

承元3年のある日、一人のお坊さんが、安徳天皇のお世話をしていた按察使局(あぜちのつぼね)の伊勢を訪ねてきました。

「もうし、伊勢殿、おいでか」返事がありません。

「もうし、どなたか、おいでかな」しばらくたっても返事がありません。

お坊さんは夕方まで待っていました。

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今日はいつもと違う雰囲気ではまりました。

今月は、久留米シティプラザが無料動画配信サイト(YouTube)で配信中の

『みみて楽しむ久留米の昔話』をテーマにお送りします。ゲストはこの方です。

ゲスト:竹下さん(以下「竹下」)

こんにちは。久留米シティプラザ事業制作課の竹下久美子です。

久留米シティプラザで開催する公演、イベント、

教育普及などの企画制作から実施までを担当しています。よろしくお願いします。

坂本 第1回目は、『久留米の昔話』配信のきっかけと、

昔話全10話の中から『京の隈(京町)の起こり』をご紹介します。

まず、なぜ久留米シティプラザが昔話の配信を行っているのか教えてください。

竹下 少しさかのぼりますが、久留米シティプラザでは、

水天宮に祀られている安徳天皇や市内の各地にある平家落人伝説に着目し、

6年前に『くるめと安徳天皇伝説』企画を立ち上げました。

実は、安徳天皇や平家を題材にした演劇作品は、能や歌舞伎をはじめ、たくさんあるんです。プラザ内部や参加者の間では、この企画を通称「安徳部(あんとかぶ)」と呼んでいます。

坂本 安徳部、なんだか部活動みたいで楽しそうな気がします。

竹下 毎年、劇作家の岸井大輔氏をお迎えして、取材やワークショップなどをしながら、創作活動を行っています。
しかし、去年はコロナの影響で公演やイベントがことごとく中止になってしまいました。さまざまな行動制限がある中でも、文化芸術活動の拠点として何か発信したい、何ができるのか、とみんなで考えていたとき、あるスタッフが「昔話のオーディオドラマを作って配信したい」と言ったのがきっかけです。

坂本 オーディオドラマというと、ちょっと耳なじみがないんですが、どのようなものですか？

竹下 音声だけで制作するので、ラジオドラマとも言われています。
プラザには、公演などの音響を担当する専門のスタッフもいるので、BGMや効果音などを入れて仕上げてくれました。

坂本 ラジオドラマと聞くと腑に落ちました。私もそれなりの年齢なので(笑)
なんで昔話を題材にしようと思ったんですか？

竹下 昔話は、図書館で安徳天皇について調べていた時に見つけた「久留米のおかし話」という絵本から、平家にまつわるお話を10話選んでいます。
昔話には先人たちの知恵や思いが詰まっていて、それが現在でも史跡やお祭りになって残っていたりするんですね。
実際の動画では、イラストと現在も伝わる史跡や祭りの様子を紙芝居風にご紹介しています。

坂本 言い伝えには、そこに住む人々の生活や思いがこもってますからね。

竹下 実は、我が子が中学生の時に「水天宮には誰が祀られているか知ってる？」とたずねたことがあるのですが、「真木和泉守!」と即答されたんです。
確かに水天宮の境内には真木神社があるので、それも間違いではないのですが……。
試しに、プラザの内部で同じ質問をしたところ、若い世代ほど知らない方が多かったです。
よく考えたら、地元の文化や史跡について学ぶ機会って意外と少ないですよ。

坂本 水天宮には、安徳天皇と二位の尼、それから安徳天皇の母親である高倉平中宮(たかくらいたいらのちゅうぐう)と、親子三世代が祀られています。
この番組でも水天宮の真木宮司をゲストに招いて、お話しをお伺いしたこともありますので、私もちょっと知っています。

竹下 それに、平家が滅んだとされる下関市出身の私としては、
我が子が安徳天皇を知らないということが個人的にも悲しくて・・・。

坂本 下関は、源平合戦の終焉の地ですからね。
安徳天皇は、幼くして祖母の二位の尼に抱かれて、壇ノ浦の海に沈んだと言われています。
でも、実は密かに久留米に逃げ延びていたと伝わるのですね。

竹下 今日、番組のはじめにご紹介した『京の隈（京町）の起こり』は、
800年以上も前の出来事が、京町という地名の由来になったというお話です。
このオーディオドラマが、昔と今をつなぐ架け橋になるといいなと思います。
もともと、「平家物語」も琵琶法師が語り継いできた古典作品ですよ。
史実かどうかはさておき、この土地に住む方たちが何百年も守り伝えてきたことを、
もっと地元の人や子どもたちにも知ってもらって、
身近にある史跡や文化に愛着をもっていただけると嬉しいです。

坂本 実は私も今、住んでいるところが京町なんです。
水天宮のすぐ前で、子供たちは水天宮の境内で遊んで育ちましたので、
船太鼓にも参加していました。
なので、子供たちが地元のいろいろな文化に触れていくことは非常にうれしいと思うし、
これからも続けてほしいと思います。

竹下 今日ご紹介した『京の隈（京町）の起こり』では、水天宮の由来にも触れていますので、
ぜひ最後まで聞いてみてください。

坂本 竹下さん。興味深いお話をありがとうございました。
他にもいろいろな昔話が、久留米シティプラザのホームページや YouTube サイトにありますので、
ぜひ聞いてみてください。
次回は田主丸に伝わる『平知盛の墓』をテーマにお聞きます。
お楽しみに。